



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成25年7月25日

上場会社名 中外製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4519 URL <http://www.chugai-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 永山 治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 内田 誠彦 TEL 03-3273-0881
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月31日 配当支払開始予定日 平成25年8月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	201,016	8.4	38,120	4.7	36,946	5.1	25,261	14.7	24,748	14.4	30,298	35.1
24年12月期第2四半期	185,452	—	36,414	—	35,155	—	22,023	—	21,630	—	22,431	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	45.46	45.41
24年12月期第2四半期	39.75	39.73

(注) 非支配持分を除く親会社の所有者に帰属する各項目は添付資料において「当社の株主持分」と表記しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	654,495	548,793	547,437	83.6
24年12月期	645,325	529,161	527,961	81.8

(注) 非支配持分を除く親会社の所有者に帰属する各項目は添付資料において「当社の株主持分」と表記しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年12月期	—	22.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(予想売上収益、Core営業利益及びCore EPSの%表示は対前期増減率、実績の%表示は対予想進捗率)

	売上収益		Core営業利益		Core EPS		Core 配当性向
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	%
25年12月期第2四半期（実績）	201,016	48.3	38,696	49.9	46.06	49.8	—
25年12月期（予想）	416,000	7.6	77,500	2.5	92.57	8.1	48.6

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 上記「連結業績予想」は、当社が定める経常的な業績を示す指標（Coreベース）に基づき予想値及び実績を算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期 2 Q	559,685,889株	24年12月期	559,685,889株
25年12月期 2 Q	15,076,660株	24年12月期	15,440,438株
25年12月期 2 Q	544,405,164株	24年12月期 2 Q	544,199,915株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社は、平成25年12月期第1四半期連結累計期間から国際会計基準（以下、IFRS）を適用しております。また、前年同四半期及び前連結会計年度の連結財務諸表につきましても、IFRSに準拠して表示しております。

(2) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した目標であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

(3) 当社が公表する業績予想は、当社社内の管理指標であるIFRSのCoreベースで株主・投資家の皆さまに開示するものであります。IFRS実績とCore実績の差異については、各四半期の業績開示の中で説明を行います。

(4) 業績予想に関する事項は添付資料P. 5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(5) 当社のCoreベースに関する詳細は「国際会計基準（IFRS）の任意適用に関するお知らせ」補足資料（<http://www.chugai-pharm.co.jp/html/press/pdf/2012/121214jSupplementaryMaterials.pdf>）P. 11-13をご参照ください。

(6) 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料、動画配信、Q&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成25年7月26日（金）・・・機関投資家・アナリスト向け説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	6
3. 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 要約四半期連結財務諸表注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

単位：億円

	2013年 第2四半期実績	2012年 第2四半期実績	前年同期比
連結損益 (Core実績)			
売上収益	2,010	1,855	+8.4%
製商品売上高 (タミフル除く)	1,798	1,719	+4.6%
タミフル	90	81	+11.1%
ロイヤルティ及びその他の営業収入	122	54	+125.9%
売上原価	△879	△813	+8.1%
売上総利益	1,131	1,042	+8.5%
販売費	△340	△322	+5.6%
研究開発費	△348	△311	+11.9%
一般管理費等	△57	△40	+42.5%
営業利益	387	369	+4.9%
四半期利益	256	223	+14.8%
連結損益 (IFRS実績)			
売上収益	2,010	1,855	+8.4%
営業利益	381	364	+4.7%
四半期利益	253	220	+15.0%

<連結損益の概要 (IFRSベース)>

当第2四半期連結累計期間の営業利益は381億円（前年同期比4.7%増）、四半期利益は253億円（同15.0%増）となりました。これらには当社が管理する経常的業績（Coreベース）からは除外される無形資産の償却費5億円、事業所再編費用2億円などが含まれております。

<連結損益の概要 (Coreベース)>

当第2四半期連結累計期間の売上収益は、薬価改定の影響及び骨粗鬆症治療剤「エビスタ」の販売提携終了の影響があったものの、製商品売上高、ロイヤルティ及びその他の営業収入がいずれも伸長し、2,010億円（前年同期比8.4%増）となりました。売上収益のうち、タミフルを除く製商品売上高は1,798億円（同4.6%増）です。

ロイヤルティ及びその他の営業収入は、マイルストーン収入の増加、ロシュ・グループ（以下、「ロシュ」という）による抗IL-6レセプターヒト化モノクローナル抗体「アクテムラ」の海外売上増加に伴う受取ロイヤルティ、プロフィットシェアの増加等により倍増しています。

売上総利益は1,131億円（同8.5%増）となりました。円安影響及び製品構成の変化に伴う原価率の上昇により、売上原価は879億円（同8.1%増）となりました。

経費については、円安影響による海外販社の経費増等により販売費が340億円（同5.6%増）、同じく円安影響及び中外ファーマボディ・リサーチ社の活動本格化等により研究開発費が348億円（同11.9%増）、諸経費の増加により一般管理費等が57億円（同42.5%増）となりました。

この結果、営業利益は387億円（同4.9%増）、四半期利益は256億円（同14.8%増）となりました。なお、税制改正の影響（前年同期の一時費用発生と当期の税率引下げ）に伴い、営業利益と四半期利益の前年同期増減率の差異が大きくなっています。

※Core実績について

当社はIFRS移行を機に2013年よりCore実績を開示しております。Core実績とはIFRS実績に当社が非経常事項と捉える事項の調整を行ったものであり、ロシユが開示するCore実績の概念とも整合しております。当社ではCore実績を社内の業績管理に使用しており、Core実績を社内外に経常的な収益性の推移を説明するため、また株主還元をはじめとする成果配分を行う際の指標として使用いたします。

詳細は補足資料P. 5 「IFRS実績からCore実績への調整表」をご覧ください。

<製商品売上高の内訳>

単位：億円

	2013年 第2四半期実績	2012年 第2四半期実績	前年同期比
製商品売上高	1,888	1,801	+4.8%
国内製商品売上高（タミフル除く）	1,520	1,505	+1.0%
がん領域	787	724	+8.7%
骨・関節領域	275	303	△9.2%
腎領域	225	229	△1.7%
移植・免疫・感染症領域	92	98	△6.1%
その他領域	142	150	△5.3%
タミフル	90	81	+11.1%
通常	82	78	+5.1%
行政備蓄等	8	4	+100.0%
海外製商品売上高	278	215	+29.3%

〔国内製商品売上高（タミフル除く）〕

タミフルを除く国内製商品売上高は、「エビスタ」の販売提携終了や薬価改定の影響があったものの、抗悪性腫瘍剤/抗VEGFヒト化モノクローナル抗体「アバスタ」をはじめとするがん領域の堅調な成長と2011年に発売した活性型ビタミンD3製剤「エディロール」及び2013年5月に新剤形を発売した「アクテムラ」の寄与により、1,520億円（同1.0%増）となりました。「エビスタ」の販売提携終了の影響を除くベースでは、前年同期比6.4%増であり、引き続き好調に推移しております。

がん領域の売上は、787億円（同8.7%増）と引き続き増加しています。これは、「アバスタ」、「抗悪性腫瘍剤/抗HER2ヒト化モノクローナル抗体「ハーセプチン」等の主力製品が順調に伸長していることによります。

骨・関節領域の売上は、「エディロール」と「アクテムラ」が大きく伸長しているものの、「エビスタ」の販売提携終了により275億円（同9.2%減）と減少しました。

腎領域の売上は、225億円（同1.7%減）となりました。持続型赤血球造血刺激因子製剤「ミルセラ」が主に保存期市場で伸長し前年同期比約3割増の売上となる一方、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポジン」は、「ミルセラ」への切り替えとバイオ後続品を含む競合品の攻勢も受け売上が大きく減少しています。

移植・免疫・感染症領域（タミフル除く）は、インターフェロン製剤の市場縮小の影響によりペグインターフェロン-α-2a製剤「ペガシス」、抗ウイルス剤「コペガス」の売上が減少し、92億円（同6.1%減）と減少しました。

[抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」について]

通常シーズン向けの売上は、82億円（同5.1%増）となりました。一方、行政備蓄向け等の売上は、8億円（同100.0%増）となりました。

[海外製商品売上高]

円安影響に加え、「アクテムラ」のロシュ向け輸出が数量ベースでも伸長し、海外製商品売上高は278億円（同29.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜資産、負債及び純資産の状況＞

単位：億円

	2013年 第2四半期末実績	2012年 期末実績	前期末比
資産負債の推移			
純運転資本	1,711	1,579	+8.4%
長期純営業資産	1,450	1,500	△3.3%
純営業資産 (NOA)	3,161	3,079	+2.7%
ネット現金	2,232	2,117	+5.4%
その他の営業外純資産	96	96	0.0%
純資産合計	5,488	5,292	+3.7%
連結財政状態計算書 (IFRS実績)			
資産合計	6,545	6,453	+1.4%
負債合計	△1,057	△1,162	△9.0%
純資産合計	5,488	5,292	+3.7%

純運転資本は1,711億円と、前連結会計年度末に比べ132億円増加しました。在庫状況や需要予測等に応じて、仕入タイミングを適時調整していることにより買掛金が減少し、主力製品の売上規模拡大などに伴い棚卸資産が増加したこと等によるものです。また、長期純営業資産は、減価償却に伴う有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ50億円減少し、1,450億円となりました。その結果、純営業資産 (NOA) は前連結会計年度末に比べ82億円増加し、3,161億円となりました。

P. 5「キャッシュ・フローの状況」に示すとおり、有価証券や有利子負債を含むネット現金は前連結会計年度末に比べ115億円増加し、2,232億円となりました。また、その他の営業外純資産は前連結会計年度から横這いで96億円となりました。

その結果、純資産合計は前連結会計年度末に比べ196億円増加し、5,488億円となりました。

※資産負債の推移について

連結財政状態計算書は国際会計基準第1号「財務諸表の表示」に基づいて作成しております。一方で、純営業資産 (NOA) を含む資産負債の推移は、連結財政状態計算書を独自の体系として再構成したものであり、ロシュが開示する概念とも整合しております。なお、資産負債の推移にはCore実績のような除外事項はありません。

詳細は補足資料P. 8「資産負債の推移＜資産、負債及び純資産の状況＞」をご覧ください。

<キャッシュ・フローの状況>

単位：億円

	2013年 第2四半期実績	2012年 第2四半期実績	前年同期比
フリー・キャッシュ・フローの推移			
営業利益	381	364	+4.7%
調整後営業キャッシュ・フロー	472	415	+13.7%
営業フリー・キャッシュ・フロー	306	569	△46.2%
フリー・キャッシュ・フロー	78	315	△75.2%
ネット現金の純増減	115	312	△63.1%
連結キャッシュ・フロー計算書（IFRS実績）			
営業活動によるキャッシュ・フロー	260	503	△48.3%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113	△158	△28.5%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109	△114	△4.4%
現金及び現金同等物の増減額	50	230	△78.3%
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,005	1,175	△14.5%

営業利益から、営業利益に含まれる減価償却費などのすべての非現金損益項目及び純営業資産に係るすべての非損益現金流入を調整した調整後営業キャッシュ・フローは、472億円の収入となりました。主な調整内容は、有形固定資産の減価償却費及び減損損失の72億円です。

調整後営業キャッシュ・フローに、純運転資本等の増加97億円を減算し、さらに有形固定資産及び無形資産の取得による支出69億円を減算した営業フリー・キャッシュ・フローは306億円の収入となりました。純運転資本等の増加要因は、P. 4「資産、負債及び純資産の状況」に記載した通りです。有形固定資産の取得は、主に研究機器や工場設備の購入によるものです。

また、営業フリー・キャッシュ・フローから財務管理に伴うキャッシュ・フロー、法人所得税及び配当金の支払の合計228億円を減算したフリー・キャッシュ・フローは78億円の収入となりました。

その結果、換算差額等調整後のネット現金の純増減は115億円の増加、有価証券及び有利子負債の増減を除いた現金及び現金同等物は50億円増加し、当四半期末残高は1,005億円となりました。

※フリー・キャッシュ・フローの推移について

連結キャッシュ・フロー計算書は国際会計基準第7号「キャッシュ・フロー計算書」に基づいて作成しております。一方で、当社では営業利益、営業フリー・キャッシュ・フロー（営業FCF）及び純営業資産を一体的かつ一貫性をもって定義づけ、営業FCFを内部管理に用いる指標として利用しております。また、これはロシュが開示する営業FCFの概念とも整合しております。なお、FCFは連結キャッシュ・フロー計算書を独自の体系として再構成したものであり、Core実績のような除外事項はありません。

詳細は補足資料P. 9「フリー・キャッシュ・フローの推移」をご覧ください。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2013年1月30日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

※本項において、金額は億円未満を四捨五入しております。また、増減及び%は億円単位で表示された数字で計算しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)
売上収益	201,016	185,452
製商品売上高	188,842	180,087
ロイヤルティ及びその他の営業収入	12,174	5,365
売上原価	△88,337	△81,723
売上総利益	112,679	103,728
販売費	△34,101	△32,154
研究開発費	△34,861	△31,149
一般管理費等	△5,598	△4,012
営業利益	38,120	36,414
金融費用	△15	△29
その他の金融収入(支出)	△1,158	△1,230
税引前四半期利益	36,946	35,155
法人所得税	△11,685	△13,132
四半期利益	25,261	22,023
四半期利益の帰属：		
当社の株主持分	24,748	21,630
非支配持分	514	393
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	45.46	39.75
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	45.41	39.73

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)
四半期利益	25,261	22,023
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目	—	—
純損益に振り替えられない項目合計	—	—
のちに純損益に振り替えられる可能性のある項目		
(a) 在外子会社等の為替換算差額	3,598	△263
(b) キャッシュ・フロー・ヘッジに係る純変動額	506	—
(c) (b)について純損益に振り替えられた金額	△443	—
(d) 売却可能金融資産の公正価値の変動	2,081	912
(e) (d)について純損益に振り替えられた金額	3	108
(f) (a)～(e)に係る法人所得税	△709	△350
のちに純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5,036	408
その他の包括利益合計	5,036	408
四半期包括利益	30,298	22,431
四半期包括利益の帰属：		
当社の株主持分	29,634	22,031
非支配持分	664	400

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (2013年6月30日)	前連結会計年度末 (2012年12月31日)	IFRS移行日 (2012年1月1日)
資産			
非流動資産：			
有形固定資産	139,902	143,056	143,356
無形資産	7,162	6,500	6,548
長期金融資産	8,423	6,332	4,946
その他の非流動資産	10,650	10,921	11,316
繰延税金資産	22,088	20,735	24,042
退職後給付資産	2,567	2,680	993
非流動資産合計	190,792	190,224	191,202
流動資産：			
棚卸資産	114,092	108,413	102,834
営業債権及びその他の債権	119,932	128,306	119,506
未収法人所得税	69	344	27
その他の流動資産	6,202	6,108	4,035
有価証券	122,946	116,484	75,177
現金及び現金同等物	100,461	95,445	94,474
流動資産合計	463,703	455,100	396,054
資産合計	654,495	645,325	587,255
負債			
非流動負債：			
長期有利子負債	△210	△213	△170
繰延税金負債	△10,347	△9,963	△9,342
退職後給付負債	△775	△747	△655
長期引当金	△1,818	△1,893	△1,907
その他の非流動負債	△10,919	△8,630	△4,531
非流動負債合計	△24,069	△21,446	△16,606
流動負債：			
短期有利子負債	△44	△44	△22
未払法人所得税	△12,602	△11,437	△13,731
短期引当金	△237	△5	△273
営業債務及びその他の債務	△48,130	△60,096	△35,895
その他の流動負債	△20,620	△23,135	△21,740
流動負債合計	△81,632	△94,718	△71,661
負債合計	△105,702	△116,164	△88,266
純資産合計	548,793	529,161	498,989
資本の帰属			
当社の株主持分	547,437	527,961	497,782
非支配持分	1,356	1,200	1,207
資本合計	548,793	529,161	498,989

(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業活動による現金創出	48,821	42,960
運転資本の減少(増加)	△9,659	20,710
確定給付制度に係る拠出	△1,354	△1,396
引当金の支払	△54	△2
その他の営業活動	122	1,942
小計	37,876	64,214
法人所得税の支払	△11,876	△13,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,001	50,321
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△6,476	△7,084
無形資産の取得	△425	△318
有形固定資産の処分	△74	4
利息及び配当金の受取	215	250
有価証券の取得	△122,189	△82,128
有価証券の売却	117,653	73,692
その他の投資活動	△3	△225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,298	△15,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払	△6	△4
配当の支払	△10,892	△10,887
配当の支払—非支配持分	△507	△429
ストック・オプションの行使	601	0
自己株式の減少(増加)	△5	△2
その他の財務活動	△63	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,871	△11,389
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,184	△93
現金及び現金同等物の増減額	5,016	23,031
現金及び現金同等物の期首残高	95,445	94,474
現金及び現金同等物の期末残高	100,461	117,505

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

当第2四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)

(単位: 百万円)

	当社の株主持分				合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本構成 要素			
2013年1月1日現在	72,967	64,668	397,221	△6,895	527,961	1,200	529,161
四半期利益	—	—	24,748	—	24,748	514	25,261
売却可能金融資産の 公正価値	—	—	—	1,399	1,399	—	1,399
キャッシュ・ フロー・ヘッジ	—	—	—	39	39	—	39
在外子会社等の 為替換算差額	—	—	—	3,449	3,449	150	3,598
四半期包括利益合計	—	—	24,748	4,887	29,634	664	30,298
剰余金の配当	—	—	△10,885	—	△10,885	△508	△11,392
ストック・オプショ ン	—	29	—	—	29	—	29
自己株式	—	697	—	—	697	—	697
その他	—	—	—	—	—	—	—
2013年6月30日現在	<u>72,967</u>	<u>65,394</u>	<u>411,084</u>	<u>△2,008</u>	<u>547,437</u>	<u>1,356</u>	<u>548,793</u>

前第2四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)

(単位: 百万円)

	当社の株主持分				合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本構成 要素			
2012年1月1日現在	72,967	64,385	371,560	△11,129	497,782	1,207	498,989
四半期利益	—	—	21,630	—	21,630	393	22,023
売却可能金融資産の 公正価値	—	—	—	670	670	—	670
キャッシュ・ フロー・ヘッジ	—	—	—	—	—	—	—
在外子会社等の 為替換算差額	—	—	—	△270	△270	7	△263
四半期包括利益合計	—	—	21,630	401	22,031	400	22,431
剰余金の配当	—	—	△10,884	—	△10,884	△431	△11,315
ストック・オプショ ン	—	83	—	—	83	—	83
自己株式	—	34	—	—	34	—	34
その他	—	—	102	—	102	—	102
2012年6月30日現在	<u>72,967</u>	<u>64,502</u>	<u>382,408</u>	<u>△10,729</u>	<u>509,148</u>	<u>1,176</u>	<u>510,324</u>

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表注記

1. 重要な会計方針等

(1) 作成の基礎

この要約四半期連結財務諸表は、日本（東京）に所在し、東京証券取引所に上場（株式コード:4519）している中外製薬株式会社（以下、「当社」という）及びその子会社の要約四半期連結財務諸表です。この要約四半期連結財務諸表は2013年7月25日に取締役会によって承認されております。

ロシュ・ホールディング・リミテッドはスイス証券取引所に上場し、「国際会計基準」（以下、「IFRS」という）に準拠し業績を開示しているロシュの親会社であります。当社グループはロシュとの戦略的アライアンスの締結により2002年10月よりロシュの主要なメンバーになっております。ロシュ・ホールディング・リミテッドは、当社株式の発行済株式総数のうち、59.89%を所有しています。

当社グループは、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）第1条の2第1項第1号に定める「特定会社」の要件を満たすことから、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成しております。

要約四半期連結財務諸表は当社の機能通貨である日本円で表示し、百万円未満を四捨五入しております。デリバティブや売却可能な金融資産など一部の項目を除き、測定は取得原価に基づいております。

前連結会計年度までの連結財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる会計基準（以下、「JGAAP」という）に準拠しています。JGAAPによって作成された最後の連結財務諸表は、2012年12月31日に終了する連結会計年度に係るものであります。

当社グループのIFRS移行日は、2012年1月1日であります。注記2に2012年1月1日、2012年6月30日及び2012年12月31日付のIFRS及びJGAAPの資本比較を、また前連結会計年度、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間のIFRS及びJGAAPそれぞれの四半期（当期）利益及び包括利益の比較を行っております。

この要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、この要約四半期連結財務諸表（IFRS移行日の連結財政状態計算書を含む）に記載されている全ての期間について適用された会計方針と同一であります。

(2) 重要な会計方針

当社グループが採用したIFRSのもとでの重要な会計方針は、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2013年1月1日から2013年3月31日まで）に係る要約四半期連結財務諸表に記載しております。

2. IFRSへの移行に関する開示

当社グループは、2012年1月1日から開始する連結会計年度からIFRSを適用しております。IFRS移行日は2012年1月1日です。当社グループの連結財務諸表はこれまでJGAAPに準拠しております。直近のJGAAPに準拠した連結財務諸表は2012年12月31日に終了する連結会計年度に係るものです。

ロシュは1990年からIFRSに準拠した連結財務諸表を開示しております。当社グループはロシュとの戦略的アライアンス以降、ロシュのメンバーとして、ロシュの連結財務諸表作成のための財務報告をロシュ向けに行って参りました。

当社グループは、IFRSの初度適用にあたり国際財務報告基準第1号「国際財務報告基準の初度適用」D16項(a)の規定を適用し、ロシュの連結財務諸表に含まれている当社グループの帳簿価額により資産及び負債を測定しております（ロシュが当社グループを取得した際の企業結合の影響等についての修正を除く）。

資本の調整

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2012年12月31日)	前第2四半期 連結会計期間末 (2012年6月30日)	IFRS移行日 (2012年1月1日)
JGAAPに準拠した 連結財務諸表の純資産	490,075	469,355	459,073
(a) 有形固定資産	60,784	60,055	60,420
(b) 無形資産	4,865	4,869	4,714
(c) 退職後給付関係	4,652	2,556	2,608
(d) 長期前払費用	2,060	2,297	2,534
(e) 棚卸資産	△481	△646	△2,149
(f) 繰延収益	△7,521	△2,847	△3,027
(g) 有給休暇引当金	△2,946	△3,033	△2,995
その他	△179	△55	△217
(h) 繰延税金資産及び負債	△22,148	△22,226	△21,972
純資産の調整額合計	39,086	40,969	39,916
IFRSに準拠した 連結財務諸表の資本	529,161	510,324	498,989

四半期（当期）利益の調整

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自2012年1月1日 至2012年12月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自2012年1月1日 至2012年6月30日)	前第2四半期 連結会計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)
JGAAPに準拠した 連結財務諸表の 少数株主損益調整前 四半期（当期）純利益	48,992	21,282	11,738
(a) 有形固定資産	1,060	328	265
(b) 無形資産	369	210	242
(c) 退職後給付関係	208	98	49
(d) 長期前払費用	△474	△237	△119
(e) 棚卸資産	1,393	1,163	422
(f) 繰延収益	△4,640	120	83
(g) 有給休暇引当金	49	△38	△5
その他	△610	△848	△1,271
(h) 繰延税金資産及び負債	494	△54	△293
四半期（当期）利益の 調整額合計	△2,151	741	△625
IFRSに準拠した 連結財務諸表の 四半期（当期）利益	46,841	22,023	11,112

四半期（当期）包括利益の調整

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自2012年1月1日 至2012年12月31日)	前第2四半期 連結累計期間 (自2012年1月1日 至2012年6月30日)	前第2四半期 連結会計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)
JGAAPに準拠した 連結財務諸表の 四半期（当期）包括利益	53,318	21,378	8,546
四半期（当期）利益の 調整額合計（前項参照）	△2,151	741	△625
(c) 退職後給付関係	1,275	—	—
その他	46	312	625
四半期（当期）包括利益の 調整額合計	△830	1,053	△0
IFRSに準拠した 連結財務諸表の 四半期（当期）包括利益	52,488	22,431	8,546

調整内容の注記

- (a) 有形固定資産（リースを除く）の減価償却方法の違いによるものであります。IFRSでは定額法を採用しております。また耐用年数についても変更しております。さらに、新たに製品を製造する場合の設備のバリデーション（性能が確保されていることを検証すること）費用について、JGAAPでは費用としておりますが、IFRSでは機械装置の取得価額の一部に含めております。
- (b) 技術導入契約等の契約金の支出について、JGAAPでは費用としておりますが、IFRSでは無形資産として資産化しております。

- (c) 確定給付型の退職給付制度から認識される資産または負債の算定における、給付の勤務期間への帰属や割引率が異なっております。また、数理計算上の差異の処理について、JGAAPでは主として発生時における従業員平均残存勤務期間以内の一定年数による定率法により、翌年度から費用としておりますが、IFRSでは発生時にその他の包括利益としております。
- (d) 製造委託先における設備のバリデーション（性能が確保されていることを検証すること）費用について、JGAAPでは費用としておりますが、IFRSでは長期前払費用として繰り延べております。
- (e) 減価償却費の違いなどにより製造原価に差異があることによる調整であります。
- (f) 技術導出契約等の契約一時金収入について、JGAAPでは一時の収益としておりますが、IFRSでは繰延収益としております。
- (g) 未消化の有給休暇についてはIFRSのみ負債として認識しております。
- (h) 上記(a)～(g)の影響により一時差異の金額が変動したこと、及び未実現利益の消去に伴う税効果の計算に使用する税率が違うことによる調整であります。

2012年度の連結キャッシュ・フロー計算書に対する主要な調整項目の開示

JGAAPに準拠した連結キャッシュ・フロー計算書とIFRSに準拠して開示する連結キャッシュ・フロー計算書に、重要な差異はありません。